

## 市長が最重点に掲げる「人を増やすこと」の成果指標、数値目標、達成時期について伺う 草の根ふじ

**議員** 市長は、結果として最重点に掲げることは「人を増やすこと」だとしているが、定住人口や交流人口など、どの指標を用いて成果を測るのか、具体的な数値目標や達成時期を設定する考えはあるのか伺う。

**市長** 私は、まちの活力を生み出す最も重要な要素は人であると考えており、移住・定住、交流、U・Iターンなど、主に首都圏から積極的に人を呼び込む戦略に重点的に取り組んでいく必要があると考えている。

## 難聴高齢者の補聴器購入を支援する助成制度の概要と方向性について伺う 凜の会・公明党

**議員** 包括的支援について、難聴高齢者の補聴器購入を支援する助成制度の創設に取り組むとあるが、制度の概要と周知を含めた今後の方向性について伺う。

**市長** 本制度は、加齢による聴力の低下により、周囲との円滑なコミュニケーションが難しくなりつつある高齢者に対して、認知症やフレイル予防のためのコミュニケーション手段の確保や積極的な社会参加を促すことを目的としている。

耳鼻科等において、中等度の加齢性難聴のため補聴器の装用が必要と診断された65歳以上の高齢者を対象に、3万円を上限に補聴器購入費用の2分の1を助成する。

## 市長が理想とする「稼げる自治体」において新たに呼び込む投資の内容と、想定する指標は 心政富士

**議員** 市長は、地域の強みを最大限に生かし、本市に新たな投資を呼び込むことで、にぎわいと活力を生み出していきたい。これにより、地元企業が潤い、働く人の所得が増えることでさらなる投資を呼び込む好循環が生まれ、市民の満足度が最大限に高まっていくことこそが私が理想とする「稼げる自治体」の姿であるとしているが、ここで言う投資とはどのようなものを想定し、どのような指標を想定して「稼げる自治体」を目指していくのか伺う。

**市長** 「稼げる自治体」とは、地元企業が潤い、働く人の所得が増えることで投資を呼び込む好循環が生まれ、市民の満足度が最大限に高まっていくことであると考えている。

人を増やす施策の成果指標としては、現在、富士市デジタル田園都市総合戦略において、「生産年齢人口の減少数の緩和」「東京圏からの若い世代の社会動態の改善」「滞在人口の拡大」などを設定している。また、総合戦略にひもづく各施策においても、「観光交流客数」や「移住相談から移住につながった人数」「誘致企業数」などをKPIとして設定している。

このような中、これらの目標とする時期は、総合計画前期基本計画の終期である令和8年度末であることから、現在策定中の総合計画後期基本計画において、改めて具体的な数値目標などを検討していく。

また、申請時及び補聴器購入から1年後を目安に、補聴器利用前後の状況と、利用による耳の聞こえや社会参加などの生活に関するアンケートを実施し、その効果を検証するとともに、介護予防教室等への参加を促すなどの支援を行う予定である。

本事業の周知については、地域において高齢者の相談窓口を担う地域包括支援センターや居宅介護支援事業所へ事業の説明を行うとともに、広報紙等により案内するなど、市民への広報に努めていく。

本事業の実施により、より多くの高齢者の社会参加を促し、認知症やフレイル予防を図るとともに、いつまでも住み慣れた地域で安心して生活を送ることができるよう支援を行っていく。

このため、地域の強みを生かしながら、長期的な視点で税収や雇用のほか、にぎわいの創出が見込める投資を呼び込んでいく。

具体的には、大規模集客施設や富士山フロント工業団地第3期等への工場、豊かな自然や歴史、文化を生かした滞在型の観光施設の誘致などを想定している。

このため、私自身がトップセールスを行うとともに、市長直轄の「稼ぐ力推進室」を設置して誘致活動を強化するなど、本市への投資の実現に努めていく。

また、「稼げる自治体」に関する指標としては、現在策定中の総合計画後期基本計画において、分かりやすい指標となるよう検討する。

## 新富士駅南口周辺に新たな対流を呼び込む環境の創出に向けた計画策定について伺う 心政富士

**議員** 市街地形成については、新富士駅南口周辺に新たな対流を呼び込む環境の創出に向けた新富士駅南口周辺都市機能形成基本計画を策定することだが、本計画を策定することで民間事業者の参入や具体的な施設整備がどのように加速化できると考えるか伺う。

**市長** 本計画は、新富士駅南口周辺の良好な市街地環境の創出とにぎわい、交流の活性化を目的に、市民、事業者、行政が共有できる将来の目指す姿などを定めるものである。これまでの駅前の高度利用に向けた地権者等との協議や、開発促進に向けて実施した民間事業者に対するサウンディング調

査において、新富士駅南口周辺をどのような方針で開発していくのかといった、市としての具体的なビジョンが求められている。このような背景から、民間資本による新富士駅南口周辺の都市機能の整備が加速化するよう、地権者のまちづくりに対する理解や協力を得るとともに、民間事業者の進出に係る機運を高めていくため、本計画の策定に着手した。

また、資材価格の高騰や現場の労働力不足などのほか、この地区には商店街などエリア全体の取組を推進する機関がないなどの特有の課題を抱えているため、行政や地権者だけでなく、市内企業や経済団体、大学、金融機関など、産官学民金が連携して取り組むエリアマネジメントを推進していきたいと考えている。

## 「木育キャラバン」はどのような形で開催するのか 真政会

**議員** 移動型おもちゃ美術館「木育キャラバン」の実施に取り組むとしているが、具体的な時期や開催方法等について伺う。

**市長** 「木育キャラバン」は、東京おもちゃ美術館が運営する、良質な木のおもちゃを詰め込んだ移動型のおもちゃ美術館で、木の温もりや香りに触れる遊びを通じて、子どもたちの感性を育み森林への関心を高めるイベントとして全国各地で開催されており、親子で楽しめる貴重な木育体験の機会となっている。

開催場所や時期については、近年の猛暑日に子供の遊び場を確保することを考慮し、空調設備の

整った広い室内を会場とし、新年度の夏休み期間中の2日間での開催を予定している。

具体的には、北里アリーナ富士を会場として、国産材を中心とした300点以上の木のおもちゃを用意し、親子で自由に遊んでいただくほか、参加者同士で協力しながら積み木を積み上げて、大きな作品を作るイベントなども予定している。

開催に当たり、市が地域ボランティアを募集し、東京おもちゃ美術館から派遣される「おもちゃコンサルタント」と連携してイベントを実施するとともに、会場内に富士ヒノキのPRブースを設置し、本市の森林の状況や富士市産木材を使用した建物への補助制度などについて子育て世代へ周知を行っていく。

## 音楽で市議会をもっと身近に「議場コンサート」を開催しました！

昨年に引き続き、2月定例会の開会に先立ち、議場コンサートを開催しました。今回は、鍵盤ハーモニカアンサンブル「ふじ☆きらりん」の7人により4曲が披露されました。

7つの鍵盤ハーモニカが織りなす音の重なりが大変美しく、心に響く温かな演奏でした。

この取組は、市議会を身近に感じていただくとともに、芸術文化を振興するために企画しています。

今回も、多くの方にお越しいただき、演奏後には、本会議の傍聴もしていただきました。

- 【曲目】 ・草競馬 ・花は咲く  
・となりのトトロ ・いつも何度でも



▲演奏の様子

演奏をお聴きになりたい方はこちら▶

